



ヒグマやカラスに注意！

北海道はヒグマの生息地です。レジャーや山菜採りなどを楽しむ際は、ヒグマに注意しましょう。また、市街地ではカラスによる威嚇行動が見られますので、頭部を隠すなどし、安全を確保しましょう。

問い合わせ 農村振興課（市庁舎7階、☎65・4173）

北海道では、近年、市街地にまで姿を見せるヒグマが問題となっています。帯広市においても同様に、生息域である八千代・拓成・岩内方面のほか、市街地周辺でもヒグマの目撃情報が寄せられています。ヒグマの特徴を知り、新聞やテレビ、ホームページなどでヒグマの情報を確認するなど、細心の注意を払って行動しましょう。

令和5年度のヒグマ目撃箇所

5月12日 西24条南5丁目付近
5月13日 つつじが丘霊園内
5月15日 西24条南4丁目付近
→いずれもヒグマらしき動物2頭の目撃情報

7月20日 西4条南32丁目付近
→ヒグマらしき動物1頭の目撃情報

市街地周辺でも目撃情報があります！



八千代・拓成・岩内方面はヒグマの生息が確認されています！

八千代町や拓成町は目撃情報も多く、岩内町の林道ではヒグマのふんも多数確認されています。戸蔭別川での釣りや山林周辺でのキャンプなど、立ち入る際は十分に注意してください。

ヒグマの情報はここでチェック！

●ヒグマ目撃最新情報



市ホームページID:1003094

北海道ホームページ
ヒグマ注意報▶



●市公式LINEでも配信しています



友だち登録はこちら▶

ヒグマと出会わないために

ヒグマの特徴を踏まえ、次のことに注意しましょう。

- ・日の出、日没時の薄暗い時間帯は野山に入らない。
- ・鈴やラジオなど音の出るものを携行し、ヒグマに人の存在を知らせる。
- ・ふんや足跡を見掛ける、強い獣臭がするなど異変を感じたら直ちに引き返す。



クマの前足 クマの後足
足跡



ふん

ヒグマを引き寄せないために

- ・ヒグマを引き寄せないため、次のことに注意しましょう。
- ・収穫後の農作物や、家庭から出た生ごみを野外に放置しない。
- ・山林などに、においの強い食べ物を持参しない。

ヒグマってどんな動物？

●**聴覚**
聴力に優れ、音に敏感。

●**視覚**
昼夜を問わず行動可能な視力はあるが、遠く離れた物は見えにくい。

●**嗅覚**
非常に発達しており、埋めた残飯も見つけ出す。

●**性格**
早朝や夕方に、比較的活発に動く。人を避けて生活する。警戒心が強く用心深い。ただし、子どもを守ろうとするときや急に人が現れたとき、冬眠から覚めたときなどは狂暴になる。

●**運動能力**
非常に俊敏で、一撃で牛を倒すほどの力もある。

ヒグマの生態

○オス 体長：約 2.0m 体重：約 150～400kg
○メス 体長：約 1.5m 体重：約 100～200kg

※「体長」とは、鼻先からお尻までの長さを指します。

ヒグマの1年の過ごし方

ヒグマの活動状況により、事故が起こりやすい時期があります。

事故多発			事故多発											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月			
冬眠・出産			冬眠明け			子グマの親離れ			山のエサが少なく農作物を荒らす			冬眠準備		

春先のカラスにも要注意！

カラスは本来攻撃的な鳥ではありませんが、春先から7月頃までは子育て時期のため、巣やひな鳥から人を遠ざけようと威嚇行動をとる場合があります。



威嚇から身を守りましょう

- ・カラスは後頭部を狙うため、帽子や傘などで頭を隠しましょう。
- ・帽子や傘がない場合は、両腕を真っすぐ上げて、その場を通り過ぎましょう。

カラスが集まらないようにするためには

- ・ごみ出しのルールを守りましょう。
- ・ペットに与えた餌を放置しないようにしましょう。
- ・野鳥に餌を与えないようにしましょう。



次の場所に巣がある場合は、各相談窓口へ連絡してください。

- ◆公園内の樹木など…みどりと花のセンター（☎21・3172）
 - ◆街路樹や河川敷地内の樹木など…道路維持課（☎48・2322）
 - ◆電柱…各電柱についている管理者に問い合わせください。
- ※私有地の巣を撤去する場合は、所有者が対応する必要があります。

【その他カラスに関する相談】

- ◆ごみの飛散対策やカラスの死骸など 清掃事業課（☎37・2311）
- ◆捕獲の許可・有害鳥獣駆除の相談 農村振興課（☎65・4173）

